

令和3年度 消費・安全対策交付金（食料安全保障確立対策整備交付金）都道府県等成果及び評価

都道府県等名：岡山県

目的	目標	目標値及び実績			事業実施主体名	設置又は整備した施設・機器名	交付金相当額 (円) (うち地域提案メニュー)	事後評価	
		目標値	実績	達成度				評価及び指導方針等	第三者の意見
Ⅱ 伝染性疾病・病害虫の発生予防・まん延防止	家畜衛生の推進	施設の活用によるバイオセキュリティの向上率 (目標値) 150%	施設の活用によるバイオセキュリティの向上率 (実績値) 148% (R4 実績)	98%	岡山県	防疫資材を備蓄するための施設 (倉庫(地上1階鉄骨造)92.29㎡)	7,653,366	<p>本県では、令和4年度には高病原性鳥インフルエンザが4件発生したため、防疫資材の防疫拠点への集積を行ったが、令和5年度には高病原性鳥インフルエンザ等が発生しなかったため、防疫資材の防疫拠点への集積は行わなかった。このため、二か年平均ではなく、令和4年度の実績を基に評価を行うこととした。</p> <p>令和4年度において、高病原性鳥インフルエンザが4件発生した際の「防疫資材の防疫拠点への集積に係る時間」の実績時間が451分から235分に減少した。その減少率から向上率を算出したところ「148%」となった。結果、「施設の活用によるバイオセキュリティの向上率」の目標値「150%」に対して、達成度が「98%」となり、評価はAとなった。</p> <p>このことから、今後も、万が一の発生時には、防疫資材の防疫拠点への集積時間が短縮され、バイオセキュリティの向上を図ることができる。適正かつ円滑な防疫対策を図るため、引き続き、当施設を活用し、県内で高病原性鳥インフルエンザ等の発生時には防疫資材を速やかに防疫拠点に集積し、バイオセキュリティの確保に努めたい。</p>	<p>家畜伝染病発生に備えた初動防疫必要資材の確保は、家畜防疫におけるリスクマネジメントの基本であり、備蓄資材の保管場所確保と万が一発生した際の資材運搬の道路網等の利便性の検討が必要とされている。当県は、高速自動車道の整備が進んでおり、畜産農家密集地の津山家保に整備することで、津山家保管内はもとより県下に対応でき得ると判断する。</p>
総 計・総合達成度				総合達成率 98% 総合評価 A			7,653,366		